

【敷料を食べてしまう子牛】

はじめに

皆さんこんにちは！

最近息子がどんどん大きくなってきて喜ばしい反面、とにかく何でもかんでも口に入れたがることに困ってます、、、

赤ちゃんの噛む力は意外と強いのか、先日はスマホを噛んでるなーと思ったら頑丈さが売りの強化保護フィルムが割れていて驚愕しました。

今回はとにかく口に入れたがる赤ちゃんにちなんで、先日出会った草をため込んで哺乳拒否した子牛のお話をさせていただきます！

症例概要



品種：和牛 日齢：17日齢
体温：39.1度 心拍数：120/分
呼吸数 60/分

農家さんの稟告では、ずっと元気にミルクも飲んでいたので昨晩から呼吸が早く、咳をしてミルクを飲まないとのことでした。

診断

いざ診察してみると、熱無し、臍の腫れもなし、下痢もなし、牛も元気、しかしちょっと肺の音は荒いかな？という状態でした。

僕は普段診察の時に、必ず肺だけでなく気管の音（牛の首元に聴診器を当てると聴診できます）も聞くのですが、この子牛の気管を聴診したところ、「音が聞こえない！？というより安定して呼吸の音が聞こえない！」という状態でした。

肺の音はあまり悪くないように聞こえたのですが、肺や気管の音が静かに聞こえる場合は以下のパターンがあります。

- ① 全く問題がない健康な時
- ② 肺炎が慢性化していて、空気を肺に取り込めない

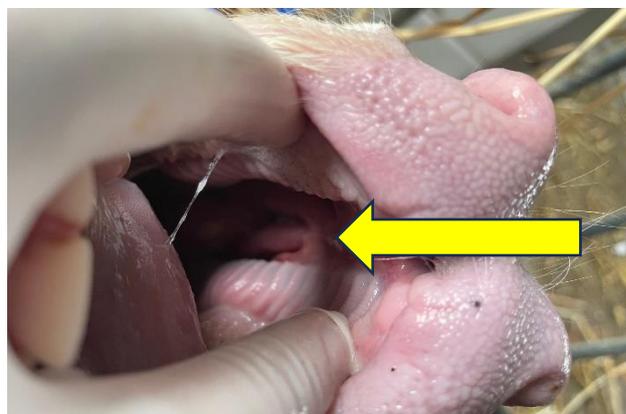
場合（無気肺）

- ③ 誤嚥性肺炎を起こしていて一時的に肺が空気を取り込めていない場合

他にも原因はありますがこのパターンであることが多いです。

しかし今回の牛は生まれてからまだ17日。よっぽどのことがなければ肺炎が慢性化するには至らないです。そこで考えられるのが「奇形による誤嚥性肺炎」。

どういうことかといいますと、稀に先天的な奇形で口の中の上部和鼻の中が通じてしまっている状態の子牛がいます（口蓋裂と呼ばれます）。



このような場合、飲んだミルクが鼻の中に流れ込んでしまうため自動的に誤嚥してしまいます。（哺乳後に鼻の穴からミルクが吹きだしている子牛がいれば口蓋裂要注意です！）



Total Herd Management Service

と思って口の中をチェックしたら、、、、



なんと！！口の中にかみ砕ききれずに飲み込めなくなっている草が詰まっていた。そのサイズはおよそ15cm。

取り出す際に確認したところ、この草は子牛の喉を超えて、喉頭蓋（食道と気管のどちらを通過させるかセレクトするための蓋）を気管側に乗り越えて詰まっていた、、、

つまりこの牛は、僕が予想していた誤嚥性肺炎でも口蓋裂でもなく、草がのどに詰まりどんどん奥に入り込んでしまったために、本来なら唾液やミルクを食道側に送るための喉頭蓋が機能せず、自分の唾液で誤嚥してしまっていた状態だったので。



この詰まっている草はハッチに敷いていた敷料（麦稈+草）の一部を食べてしまっていたようです。

このことを農家さんに報告すると、実はもともと敷料を食べてしまう癖がある子牛のようで以前も口が膨れている！と思ったら草が詰まっていたそうです。

子牛の敷料について

蛇足ですが、今回のように子牛が敷料を食べてしまうということは稀にあります。

多くは大事に至りませんが、稀に通過障害（食道梗塞やガス張り、腸ねん転など）を引き起こすことがあるようです。

今回の和牛の様に、若齢の子牛が敷料を食べてしまうのは恐らく興味本位というところが大きいと思われませんが、離乳を控えた子牛や、スターターを食べ始めた子牛が哺乳量が足りなかったり、スターターが少なく口がさみしいと敷料を食べてしまうという事例もあります。

今回の子牛は草による梗塞を起こしていましたが、もみ殻やおが屑により食道梗塞を起こし死亡してしまった例や手術になる子牛もいるようです。

また、給与する乾草の切断長が長すぎることでうまく口内で切断して飲み込むということができずに今回の子牛の様な梗塞を起こしてしまう例も考えられます。

興味本位で敷料を口にしてしまう子牛は、本牛のキャラクターもありますので、多少しょうがないところもありますが、スターターやミルクの給与量不足によって食べてしまう子牛もいますので、もし

- ① 敷料を食べる子牛が散見される
- ② 決まった時期や発育ステージでたまに出る

場合は各種飼料の給餌量を見直してみる必要があるかもしれません

岩泉



Total Herd Management Service